

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101174		
法人名	社会福祉法人 日新会		
事業所名	グループホームあかし 武番館		
所在地	甲府市上町2473		
自己評価作成日	令和 5 年 11 月 16 日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 6 年 1 月 24 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあかしでは、その人がその人らしく生活が出来るよう支援しています。入居者様が出来る事は奪わないよう自立支援に取り組んでいます。食事面では、メニューは、職員と入居者様と一緒に考え、一人一人に合った形態で提供しています。排泄は、入居者様の排泄パターンを把握し、出来るだけオムツなどは使用せず、マイパantzで過ごして頂けるよう支援しています。身体拘束・虐待などは何年も前から廃止し実行しています。

寒波が西から到来冷たい北風が吹きつける日に、グループホームあかし番館を訪問しました。迎えて頂いたのは温かい笑顔の職員、利用者様の笑顔です。寒さは吹き飛んで心が温かくなりました。事業所の姿勢が感じられます。ホールには目立つ場所に身体拘束排除理念、おむつ排除宣言、緊急時対応マニュアルの宣言が掲示しており、事業所としての取り組みが明らかになっています。理念である「明るく、楽しく、自分らしく地域とともに歩む」ことは、安全で馴染みやすい環境、ゆったりとした普通の暮らし、持っている力を暮らしに活かす方向性を示しています。より地域との共生を目指すグループホームあかしさんを応援します。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員全体の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(菘番館)	ユニット名(武番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく、楽しく、自分らしく、地域と共に歩む」を基本理念としスタッフ全員で今年度の目標「入居者様の出来る事を理解し寄り添い一日を明るく過ごす。」に向かって取り組んでいる。	明るく、楽しく、自分らしく、地域と共に歩む。を基本理念に掲げ、スタッフ全員で今年度の理念「個性を尊重し笑顔ある日々を支援する。」に向かって取り組んでいる。	訪問をした時に「明るく、楽しく、地域と共に歩む」という理念は職員、利用者様の様子から実施されていることが伺えました。地域と共に歩む姿勢は、管理者・職員が同じ方向で支援し、日々の業務の中で反映されていることを確認できました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	回覧板を回しホームの様子を知らせている。	回覧板を回しホームの様子を知らせている。	自治会に加入し回覧板を回したり、あかし便りを発行したり地域との繋がりがあります。地域の運動会等も見学してできる範囲で関わっています。コロナが5類に移行しても油断をしていません。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	回覧板に「認知症について」を書き認知症の理解を広めている。	回覧板に「認知症の対応」を書き認知症の理解を広めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回実施予定をしていますがコロナ禍の為書面で行い意見の反映に努めています。しかし、今年度(6月)より通常の運営推進会議を開催しております。家族・地域役員・有識者・地域包括等15名が参加され支援の内容の検討や意見を聞き反映させ次回の会議でも振り返り反映させています。	様々な意見を聞き、仕事に反映させている。	コロナが5類に移行したことから対面での開催をしています。メンバーは利用者様・ご家族の代表、地域代表、地域包括、有識者、事業所関係者です。最近では昨年11月に開催し、利用者様の状況や行事、体験受け入れの話をしています。不明な点は説明し、意見、要望については職員で共有し運営に反映しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ケアプランについて記入方法などをきいている	ケアプランについて記入方法など聞いている。	運営推進会議に出席されたときにケアプラン等の相談をしたり、利用者様が出かけられる場所など話し合われています。行政からは研修の案内があり、対応をしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を掲げ徹底して拘束ゼロに取り組んでいる。	身体拘束廃止宣言を掲げ徹底して拘束ゼロに取り組んでいる。	「身体拘束排除理念」を明確に打ち出しています。身体拘束は会議の中で都度確認され、職員も理解しています。お互いが注意できる環境にあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての研修を行い虐待は行っていない。	高齢者虐待防止についての研修を行い虐待は行っていない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を随時行っている。	研修を随時行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う際、説明を行い同意を得ている。	契約を行う際、説明を行い同意を得ている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(菫番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを実施し、面会時に要望を聞くようにしている。	アンケートを実施し、面会時に要望を聞くようにしている。	アンケートを実施し、事業所への要望、意見、不明な点など対応をしています。個別対応と事業所対応がありますが、それぞれに取り組んでいます。家族会も年に1回開催をして信頼関係の構築に努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日職員ミーティングを行い、意見があればその都度話あっている。	毎日職員ミーティングを行い、意見があればその都度話あっている。	管理者は職員に何かと声掛けをして馴染みやすく、話をよく聞いています。会議やミーティングの席では意見は言いやすく、できることについてはすぐ対応をしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ボーナスを職能に応じ支給している。	ボーナスを職能に応じ支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修を積極的に受けて貰っている。又外部の必要な研修への参加を促している。	法人内の研修を積極的に受けて貰っている。又外部の必要な研修への参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議への参加やグループホーム協会の研修に参加したりリモートにて参加し交流を図っている。	グループホーム協会の研修に参加して交流を図っている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談し意向を聞いている。	入居前に本人と面談し意向を聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族と面談し意向を聞いている。	入居前に家族と面談し意向を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅の場合、ケアマネージャーから情報収集している。	在宅の場合、ケアマネージャーから情報収集している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る能力の把握に努め、教えて頂く機会を作っている。	出来る能力の把握に努め、教えて頂く機会を作っている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(菟番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加して貰ったり、面会時には、ホームでの様子を伝え情報共有しています。家族にしか出来ない事はお願いしている。	行事に参加して貰ったり、面会時には、ホームでの様子を伝え情報共有しています。家族にしか出来ない事はお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス拡大からは、電話がかかってくる。	昔からの友人から手紙がくる。	難しい状況下ですが、年賀状や手紙、友人・家族等の電話があります。携帯を持っている利用者様もいます。馴染みの関係が持続する支援をしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り話しやすい環境を作っている。	仲の良い入居者様は同じテーブルにしている。職員が間に入り話しやすい環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話・手紙で連絡をとっている。	他施設に行った入居者様に手紙・電話等で関係性を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当職員を決め本人の代弁者になっている。	担当職員を決め本人の代弁者になっている。	入居時に利用者様・ご家族から思いや意向は聞いています。職員は日々の生活の中で出来るだけ利用者様の気持ちになり、思いや意向を汲み取る支援をしています。気づいたことは記録に残し、月1回の職員会議等で共有し運営に当たっています。すぐ対応すべきことは速やかに行っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時・面会時に家族や本人から生活歴を聞き把握している。	入居時・面会時に家族や本人から生活歴を聞き把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時に家族や本人から一日の過ごし方を聞きその人なりに生活が出来るように支援している。	入居時に家族や本人から一日の過ごし方を聞きその人なりに生活が出来るように支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意見を取り入れ介護計画を作成している。	本人・家族の意見を取り入れ介護計画を作成している。	職員は、日々の中で利用者様の思いをしっかりと見ています。介護計画は利用者様・ご家族・職員が、本人がよりよく暮らすために課題やケアについて話し合わせられて作成されています。利用者様・ご家族の要望に変化が生じた場合は、介護計画の見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録や毎日のカンファレンスで気付いた事を話し合いケアに活かしている。又毎月のアセスメントも活かしている。	ケア記録や毎日のカンファレンスで気付いた事を話し合いケアに活かしている。又毎月のアセスメントも活かしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(栢番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ、訪問歯科や訪問マッサージを取り入れている。又訪問美容院も取り入れている。	必要に応じ、訪問歯科や訪問マッサージを取り入れている。また訪問美容院もとりいれている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物支援を行っているがコロナウイルス拡大の為現在は、行っていない。	以前は一緒に買い物にも行ったがコロナ禍になってからは、一緒に行けないが代わりに好きな物を買ってきている。	zai	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	嘱託医が月2回回診に来ている。又ターミナルケアを行っている。	嘱託医が月2回回診にきている。又ターミナルケアもやっている。	入居時、嘱託医とかかりつけ医の説明をしています。嘱託医は月2回の往診です。今は全員の利用者様が嘱託医でご家族も理解しています。入院の場合は嘱託医・ご家族で相談をして入院しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何かあれば嘱託医に連絡し状況に応じ看護師が対応してくれる。	何かあれば嘱託医に連絡し状況に応じ看護師が対応してくれる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は介護サマリーにて情報提供を行っている。	入院時は介護サマリーにて情報提供を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	緊急時の対応を家族から聞いている。全ての家族がホームでのターミナルを望んでいる為重度化・ターミナルの方針を家族に聞き同意書にサインを頂いている。	緊急時の対応を家族から聞いている。全ての家族がホームでのターミナルを望んでいる為、重度化・ターミナルの方針を家族に聞き同意書にサインを頂いている。	入居時、ご家族に重度化や終末ケアに向けた説明をしています。終末期に事業所ができる対応を説明し、全てのご家族が事業所でのターミナルを望んでいます。早くからの方針にご家族も安心して同意書にサインをしています。利用者様の状況の変化は医療と連携し、ご家族に報告され看護・介助しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法・AEDの研修を受けている。	救急法・AEDの研修を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定し避難誘導訓練を行ったり、消火器の使い方を教えて貰っている。消防団にはホーム内の点検をしてもらっている。	昼夜を想定し避難誘導訓練を行ったり、消火器の使い方を教えてもらっている。消防団には、ホーム内の点検をして貰っている。	災害を想定した防災訓練は消防署の協力のもと年2回行われています。運営推進会議では建物の配置や設備、利用者様の様子を説明して協力もお願いしています。備蓄は期限が来たら入れ替えています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの研修を随時行いプライバシーに努めている。	プライバシーの研修を随時行い、プライバシーに努めている。	管理者が中心となって、権利擁護の研修が行われた記録があります。参加できなかった職員には資料を渡しています。理念にある「自分らしく」を大切に、利用者様の個性を重んじる姿勢が管理者・職員に十分理解されています。さりげない言葉かけ、羞恥心に配慮した支援が行われています。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(沓番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が進んで入居者様と会話・傾聴を行い会話の中から本人の思いや希望を聞いている。	職員が進んで入居者様と会話・傾聴を行い会話の中から本人の思いや希望を聞いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	本人の意見を聞き支援している。	本人の意見を聞き支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を本人に選んで貰ったり行事などには化粧をしたりしている。	洋服を本人に選んで貰ったり行事などには化粧をしたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューを入居者様に相談したり調理・盛り付け・片付け等で出来る力を把握し一緒に行っている。	食事のメニューを入居者様に相談したり調理・盛り付け・片付け等で出来る力を把握し一緒におこなっている。	食事のメニューは利用者様と相談し、好みの物が食べられるように配慮しています。調理の段階から五感で感じ、食の楽しみが食欲につながっています。盛り付けも一緒に行い、利用者様の状態を考慮した食べやすい形でお出ししています。料理も利用者様が教えてくれることもあり、参考にしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表で把握している。	食事チェック表で把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行えるよう支援している。	毎食後口腔ケアを行えるよう支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を元にパターンを把握している。	排泄チェック表を元にパターンを把握している。	排泄チェック表を元に、個々のパターンを把握し出来るだけオムツなどは使わず、マイパンツで過ごしていただけるように取り組んでいます。「おむつ排除宣言」を掲げ、職員はある利用者様が「体を動かしたらトイレのサイン」などと利用者様の特徴を捉えています。行きたい時にトイレに行かれるように配慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト・牛乳・きなこ・食物繊維が多い食品を提供している。	ヨーグルト・牛乳・きなこ・食物繊維が多い食品を提供している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	便失禁時や本人が入浴したい時に入浴出来るよう支援している。	便失禁時や本人が入浴したい時に入浴出来るよう支援している。	週2回の入浴は入浴したい時に入浴ができる支援をしています。便失禁時は他の利用者様に気づかれないように配慮し、シャワー浴等を促しています。利用者様18名中17名が女性で、ほぼ同性介護がされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	傾眠時には横になれるよう声かけ支援を行っている。	傾眠時には横になれるよう声かけ支援をおこなっている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

グループホームあかし

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人一人が何の薬を服薬しているかまた副作用についても把握している。	入居者様一人一人が何の薬を服薬しているかまた副作用についても把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	嗜好品を常時準備し散歩等の支援も行っている。本人の趣味を把握して行って頂けるよう支援している。	嗜好品を常時準備し散歩等の支援も行っている。本人の趣味を把握して行って頂けるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	家族と一緒に外出できるよう支援している。又外に出て好きな物を食べられるよう地域の協力もあり外食の機会をつくっている。今はコロナ禍の為実施できていない。	家族と一緒に外出できるよう支援している。又外に出て好きな物を食べられるよう地域の協力もあり外食の機会を作っている。今はコロナ禍のため実施出来てない。	コロナやインフルエンザ、寒さのため日常的な外出支援は難しい現状です。暖かい日の散歩などは実施しています。ご家族の協力で外出される利用者はいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内に移動スーパーが来てくれているので買いたいものがあれば一緒に出かけている。	施設内に移動スーパーが来てくれているので買いたいものがあれば一緒に出かけている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に連絡して欲しい時は代わりにかけている。大切な方からの手紙は本人に渡している。	家族に連絡して欲しい時は代わりにかけている。大切な方からの手紙は本人に渡している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温・湿度計にて不快が無いように管理している。室内の清潔にも心がけている。又季節を感じて頂けるよう季節の行事を行ったり飾ったりしている。	温度・湿度計にて不快が無いように管理している。室内の清潔にも心がけている。又季節を感じて頂けるよう季節の行事を行ったり飾ったりしている。	共有空間はほど良い湿度・温度で管理され、住みよさを感じます。ストレスを感じるような臭いなどもなく、清潔に保たれています。一人ひとりの空間も確保されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子以外にソファがあり、好きな時に座って頂いている。	椅子以外にソファがあり、好きな時に座って頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた寝具・家具などを持って来て頂き馴染の物を全て使用している。	自宅で使用していた寝具・家具などを持って来て頂き馴染の物を全て使用している。	自宅とのギャップを感じさせない配慮がされています。自宅で使用された寝具やタンスなど、思い出の品々が持ち込まれ、その人らしい居室作りになっています。利用者様の意向に沿った居室は安心して生活ができます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口やトイレが分かるようにしている。	居室の入り口やトイレが分かるようにしている。		